

電話対策してありますか？

特殊詐欺の犯人は電話帳や学校などの卒業生名簿を見て、自宅へ電話をかけてきます。

平成27年中、長野県で発生したオレオレ詐欺、還付金等詐欺の被害者のほぼ100パーセントが自宅の固定電話にかかってきた電話に出て騙されています。

また、アンケートの結果、被害者の74パーセントが「自分は騙されない」と考えており、具体的な防犯対策をせずに、犯人からの電話に出てしまっています。

犯人は、人を騙すプロで、組織的な詐欺集団です。

電話に出ると騙される可能性が非常に高くなることから、犯人からの電話に出ないようにする電話対策が必要になります。



対策① ナンバーディスプレイ電話機の設置

かかってきた電話番号を確認して、未登録の携帯電話番号や県外の電話番号、フリーダイヤルでかかってくる不審な電話番号にはでないようにすれば、詐欺の電話を受けなくて済みます。

対策② 電話転送サービス(ボイスワープセレクト)

家族や警察、役場等、必要最小限度の電話を着信登録しておき、それ以外の電話を外出中の息子さんや娘さんに転送すれば、自宅にいる親御さんが詐欺の電話に出なくて済みます。

※ NTT等への申し込みが必要で、サービス料がかかりますが、確実に詐欺の電話をブロックできます。

対策③ 詐欺撃退用電話の設置

非通知でかかってくる電話や犯人が使っている電話番号を着信拒否にすることができます。

※ ナンバーディスプレイ契約やサービスの申し込みが必要な場合があります。補助金の交付や装置の無料貸し出しを行っている市町村があります。

対策④ 電話番号の変更

犯人は電話帳や卒業生名簿等を見て家族の名前を調べて電話を架けてきます。電話番号を変更すれば、犯人からの電話がかかってくる可能性が低くなります。

対策⑤ 留守番電話作戦 オススメ!!

家の電話をいつも留守番電話にしておき、メッセージを入れた人にだけ電話を架け直せば犯人とも電話をしなくて済みます。

電話に留守番電話機能が付いていればすぐに設定できて、利用料もかかりません。

詳しくは、裏面を見てください。



留守番電話作戦

～ 卑劣な犯人から家族の幸せと大事なお金を守るため ～

その一

自宅の電話を常に留守番電話にしておく

その二

電話がかかってきても自分からは出ない

その三

メッセージを残してくれた人にだけ電話をかけなおす

その四

家族や警察署・交番・駐在所、市町村役場、病院などの電話番号を壁に貼っておく(または電話帳を作っておく)

その五

子どもや孫、甥を名乗り「電話番号が変わった」と言って新しい電話番号が録音されていても、そこには電話をせず、まずは元の電話番号や他の家族に電話をして確認する

その六

家族に確認が取れ、詐欺の電話だと分かったらすぐに警察へ通報する

その七

警察官や市の職員を名乗り、連絡がほしいと言って電話番号が録音されていたら電話帳で番号を確認する



不審なメールや電話があったら#9110へ電話相談
または、最寄りの警察署へ相談

長野県警察